



政権交代で先行き不透明な
時期の社長就任。
厳しい市況に「しばらくは
耐え忍び、淘汰を受ける時期」
としながらも、「より品質の
高い成果品を納めていく」
で、社会的に評価の高いコン
サルタントに自社が脱皮でき
るチャンスが到来する」と前
向きな姿勢をのぞかせる。

かわかみ まさひで
川神 雅秀氏
大日本コンサルタンツ
代表取締役社長に就任した

防災関連を今後の重点分野に

これまで道路構造物関連の
ことを探査する「空中電磁法」
事業で7割ほどの売り上げを
挙げているが、国内はインフ
ラが整ってきている。「それ
以外の分野でいかに売り上げ
を伸ばすかが課題」と指摘。
また国内需要の縮小を踏ま
した。昨年度、東京と大阪に設置
した設計成果品のチェックを
行う「品質審査室」などに技
術力の高い同社のOBを起用
した。

具体的には「防災関連の事
業はいまだに需要が多い。今
後の重点事業として強化して
いきたい」と方向性を示す。
「設計のミスを防ぐと同時
に、若い技術者へ技術を継承
していきたい」。社員が蓄積
してきた経験と技術を集め
て、厳しい時代に立ち向かう。
趣味はテニスと登山。特に
テニスは15年以上続けてお
り、週に1度はコートで汗を
流す。「11月に四国と大阪の
社員との合宿に参加する」と、
スポーツを通じた社員との交
流が今から楽しみ。

「会社の力は組織力。一人
の戦力をいかに結集でき
るかが重要」とチームワーク
の断層や地下水脈の位置な
の重要性を強調する。

略歴 1983年4月入社。2003年9月常務取締役、08

年7月技術統括担当・執行役員技術統括部長、同年9月専務取
締役を経て09年9月に代表取締役社長に就任。長崎大学工学部
構造工学科卒。島根県出身。60歳。

(中央支局川小ノ澤心)